

尼崎平和のための戦争展

8月22~24日

中央北生涯学習プラザ

- ・戦争があったことを忘れない。なぜ日本は戦争をしたのか。事実を知ることが平和を守りつづける大きな力になる。平和を求める団体や個人からなる実行委員会により、手弁当で30年継続開催されています。
- ・市と教育委員会も後援しています。

23日（土）は映画上映もあります。

アニメ「対馬丸」

●10時 ●14時 ●18時上映

親子で学べる企画がいっぱいです。

私は、5~6年前に参加した時、日米地位協定について沖縄県が他国の地位協定の実情を調査したレポートのコピーがそこにあり、感動しました。

ご存じですか？

市は18・22歳の個人情報をデータで自衛隊に提供中

2019年からCDで毎年氏名・住所・生年月日・性別の4情報を、市は自衛隊に提供しています。

市民の抗議に押され、2021年からは、市のHPに情報提供がイヤな人は「除外申請」できることをアップするようになりました。

しかし、そもそも個人情報が自衛隊にわたっていることを多くの市民は知らず、子どもに入隊案内が届いてびっくりしたという話をよくお聞きします。自衛隊への情報提供を知らなかったら、市



平和大行進

毎年七夕の頃、大阪から引き継いた旗は、2日かけて市内を進み、西宮へ。子どもたちが折った千羽鶴も広島へ届けられました。



平和を考える 夏

のHPから「除外申請」は探さないでしょう。

私は、市民に対して自衛隊に18・22歳の個人情報を電子データで提供していることを、ますしつかり伝えよと求めていますが、市は拒否し続けています。

個人情報は人権です。いくら国からの通知があるからといって、市民にとって不利益となることは、市がちゃんと市民を守らなければいけません。

尼崎市でできることは…

戦後80年、日本被団協が昨年10月ノーベル平和賞を受賞され初めて迎える原水爆禁止世界大会、ガザでは世界から大きな批判の声が上がり続けているのに、なおジェノサイドが続いている。日本政府は、アメリカに言われるままに、軍事予算をGDP比2%に増額し、さらに3.5%の要求に「NO」とはっきり言えない。核兵器禁止条約にも背を向けています。

今年の夏は、核廃絶と平和共存をもとめる市民の声と、「核抑止力」にしがみつく日本政府が激しくぶつかり合う瞬間になると思います。

市民と地域を守ることが役割である尼崎市が、平和共存のために何をすべきでしょうか。

これまでの平和への発信

- ・1957年世界平和都市宣言
- ・1985年核兵器廃絶平和都市宣言（議会提案）
- ・1993年10月核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書（議会）
- ・2011年2月1日平和首長会議に加盟

核廃絶、平和共存を進める条例の制定を

宝塚市では、1989年に行った「非核平和都市宣言」に基づき、2003年市と市民が非核平和の基本原則を共有し協働して、市民の平和で安全な生活の維持向上につとめるため、「核兵器廃絶平和推進基本条例」を制定しています。



尼崎市でも、今後市長が誰に替わろうと、積極的に市民と地域の平和と安全を守る施策を推進するために、条例の制定を進めるべきだと思います。